

## ソフトウェア・エンジニアリング講習会のお知らせ

ソフトウェア・エンジニアリングは、現在プログラム作成者が直面している問題、また切望している問題——たとえばプログラム作成の法則、プログラム機能の向上、モジュール化の規則、さらには良いプログラムとは何であるか等——を裏付ける科学です。今まではこのソフトウェア・エンジニアリングは顧みられることは決して多くはありませんでした。しかし、ソフトウェアの巨大化、経費の膨大化といったことが問題になるにつれて、ソフトウェアを「科学する」ことが要請されるに至りました。

今回の講習会は本学会誌 10 月号「ソフトウェア・エンジニアリング特集号」を主なテキストとしてその種々の分野、話題のいくつかを平易かつ懇切に解説いたします。

プログラマ、プログラム・マネージャ、もしくはソフトウェアに従事する方々には最適の講習会として、広くご参加をおすすめいたします。

### 記

- 開催日 昭和 51 年 1 月 28 日 (水), 29 日 (木) 9:00~17:00
- 会場 (予定) 都道府県会館 東京都千代田区平河町 (正式には受講者各自に連絡いたします。)
- 使用テキスト 情報処理 Vol. 16, No. 10 (50 年 10 月号)  
「ソフトウェア・エンジニアリング特集号」

### 内 容

- | ◇1月28日(水)                           | 〈時 間〉       |
|-------------------------------------|-------------|
| (1) ソフトウェア・エンジニアリングの必要性<br>水野幸男(日電) | 9:30~10:50  |
| (2) プログラミング方法論の問題点<br>木村泉(東工大)      | 11:00~12:20 |
| (3) ソフトウェア工学とプログラム言語<br>和田英一(東大)    | 13:10~14:20 |
| (4) ストラクチャード・プログラミング用言語<br>寛捷彦(立大)  | 14:30~15:40 |
| (5) システム記述言語<br>筑後道夫(横須賀通研)         | 15:50~17:00 |
| ◇1月29日(木)                           |             |
| (6) プログラムのトランスファラビリティ<br>松下温(沖電気)   | 9:00~10:00  |
| (7) ドキュメンテーションの自動化<br>鈴木久子(日本IBM)   | 10:00~11:00 |
| (8) ソフトウェアの信頼性<br>大島裕(横須賀通研)        | 11:00~12:10 |

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| (9) バーチャルメモリ向きのプログラム構造  | 13:00~14:00 |
| 益田 隆 司 (日立)             |             |
| (10) 並列処理とソフトウェア        | 14:00~15:00 |
| 村岡 洋 一 (横須賀通研)          |             |
| (11) 新しいシステム開発手法の適用     | 15:10~16:10 |
| 疋田 英 幸 (日本 IBM)         |             |
| (12) 国鉄におけるオンラインシステムの開発 | 16:10~17:00 |
| 稲田 伸 一 (国鉄)             |             |

**参加申込みについて:** 定員 160 名, 申込み締切りを **51 年 1 月 16 日**といたしますので, 下記申込書によって, 早目にお申込み下さい. 受講料納入受付けをもって申込み受けとし, 定員になり次第締切ります.

.....きりとり線.....

昭和 年 月 日

## 「ソフトウェア・エンジニアリング講習会」申込書<sup>(注1)</sup>

標記講習会を下記によって申込みます。(該当するものを○印でかこむ.)

- |           |                           |          |
|-----------|---------------------------|----------|
| (1) 受 講 料 | 正会員, 賛助会員 <sup>(注2)</sup> | 7,000 円  |
|           | 学 生 会 員                   | 5,000 円  |
|           | 非 会 員                     | 10,000 円 |
|           | テキスト (学会誌第 16 卷 10 号)     | 1,000 円  |
|           | 計                         | _____円也  |

### (2) 送 金 方 法

- a. 現金書留 (同封)
- b. 銀行振込 (三菱銀行虎の門支店 情報処理学会講習会普通口座 No. 4225437)  
(郵便振替は時間がかかりますから, 受け付けられません.)

- (3) 申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_  
 連絡先 〒 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ Tel. \_\_\_\_\_

### (4) その他 (連絡事項をご記入ください.)

- (注) 1. 申込書は一枚一人として下さい。(この用紙をコピーしたもので可)  
 2. 本学会賛助会員は 1 口 1 人として正会員に準じます.

## 小特集「パターン情報処理」の論文・資料募集について

本会誌第17巻7号(昭和51年7月号)は、“パターン情報処理”の論文・資料小特集とすることに決定いたしました。そのための論文と資料を下記の要領で募集いたしますので奮ってご応募下さい。(なお寄稿者は、会員に限りますが、2名以上の連名の場合には、少なくとも1名が会員であることを必要とします。)

- 申込み方法** 下記申込み用紙に、標題、要旨その他必要事項を記入の上、**1976年1月16日**までに本会宛お送り下さい。
- 原稿の提出** 原稿は通常の投稿論文に準じた型式で**1976年2月20日**までにご提出下さい。
- 内容について** 文字、画像、物体、音声などの認識処理方式・理論、あるいはそれらに関連するシステムについて述べたもので未発表のもの、特集号であることから、一般性、具体性が高く、興味を持つ読者の多いと考えられる読み易い内容のものを歓迎します。
- 採録の方法** 一般投稿論文・資料に準じて内容を審査した後、分野別のバランスと特集号原稿としての適否を考慮に入れて採否を決定します。なお一般投稿論文として十分な基準に達しているもので、紙面の都合上やむを得ず特集号に採録することが不可能になったものについては、著者からの要請が特に無い限り、原則として一般投稿と同じ扱いで順次掲載することいたしますから、ご承知おき下さい。
- 問合せ・申込み先** (社)情報処理学会 編集係  
〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 Tel. (03)431-2809

.....きりとり線.....

### 小特集 論文・資料、申込み用紙

1. 標 題
2. 分 野 (○印を付けて下さい) 文字 画像・物体 音声 その他 ( )
3. 論文, 資料の別 ( )
4. 内容要旨 (50~100 字)

.....

.....

.....

.....

5. 申込み者名 \_\_\_\_\_
6. 連絡先 \_\_\_\_\_ Tel. \_\_\_\_\_

## 昭和 50 年 11 月 19 日～12 月情報処理学会研究会開催通知

研究会名	日	時	会場	備考
設計自動化	11月19日(水)	14:00～17:00	機械振興会館	下記参照
コンピュータ・ネットワーク	11月26日(水)	14:00～17:00	KDD	前号参照
マン・マシン・システム	12月2日(火)	9:30～17:00	機械振興会館	下記参照
計算言語学	12月5日(金)	14:00～16:30	電総研	同上
イメージ・プロセッシング	12月15日(月)	14:00～17:00	東大生研	同上

### ○第11回 設計自動化研究会 (主査: 元岡 達, 代表幹事: 倉地 正, 平川和之)

日時 11月19日(水) 午後2時～5時  
会場 機械振興会館 6階65号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町駅・都営1号線大門駅・都営6号線御成門駅下車, 国電: 浜松町駅下車, バス: 新橋一渋谷線東京タワー・等々力一東京駅八重洲口線飯倉1丁目下車, Tel. (03) 434-8211]

#### 議 題 (1) マイクロプログラム・ジェネレータの作成

馬場敬信(電通大), 藤本裕行, 萩原 宏(京大)

[概要] マイクロプログラム・ジェネレータの処理システムを作成したので, 処理の方法と実行結果について報告する。

#### (2) MOS ゲート列レイアウトプログラム

吉沢 仁, 藤波義忠, 川西 宏, 可児賢二(日電)

[概要] MOS ゲートの配列を定め, 引続いて配線径路決定を行うプログラム(BLOOM)の構成, ラン結果について述べる。

#### (3) 計算機制御システム(COPOS)ソフトウェアの自動作成

木暮洋一郎, 田中俊太郎, 太田務己(東芝)

[概要] 計算機制御システムのソフトウェア作成を設計時より規定フォームに記入することにより, 直接カードまたはMTを使って, ビジネス・コンピュータで処理, 作成するものである。

### ○第11回 マン・マシン・システム研究会

(主査: 大須賀節雄, 代表幹事: 飯田善久)

#### 知能ロボット特集

知能ロボットは電子計算機工学, 自動制御工学, 機械工学などの諸分野の上に成り立つ総合技術であり, また人間のモデルを構成するものとして, これまでも多くの研究者にとって興味あるテーマでしたが, 近年, 情報処理技術をはじめとする諸技術の発達により再

び大きな関心を呼び、活発な研究活動が進められています。そこで今回マン・マシン・システム研究会において知能ロボット特集研究会を企画しました。本研究会では知能ロボットの主要構成要素である推論能力、認識能力、動作能力の各々について、現在までの各方面での研究成果およびこれらの総合されたシステムとしての知能ロボットの現状についての講演を行います。多数の参加と活発な討論を期待しております。

**日 時** 12月2日(火) 午前9時30分～午後5時  
**会 場** 機械振興会館 地下3階研修2号室(所在地は前記参照)  
**議 題** (1) インタラクティブなロボットプランニング

長田 正, 塚本順治(電総研)

[概要] 人間や環境からの情報を積極的に取り入れる機能をもったロボットプランニングのシステム構成とその応用について

(2) 物体認識に対する二つのアプローチ 白井良明(電総研)

[概要] 濃淡画像から複雑な物体を認識する方法と三次元情報を用いて曲面を含むシーン記述をする方法を述べる。

(3) ソフトウェア・サーボによる作業向き自由度の構成

井上博允, 高瀬国克(電総研)

[概要] 目的とする作業向きに, マニピュレータの自由度をソフトウェア・サーボで適宜組み替える手法を述べる。

(4) 人間腕形マニピュレータ「メラーム」の機構と制御

中野栄二(機械技研)

[概要] 左右一對の2本腕よりなる7自由度人間腕形マニピュレータ「メラーム」の機構と制御方法に関して述べる。

(5) 視覚情報処理とその応用 柏岡誠治(日立・中研)

[概要] 視覚情報処理技術の研究現況とその生産自動化への応用技術について, 日立中研での研究成果を主に概説する。

(6) 会話型信号処理システムの試作 久良修郭(安川電機)

[概要] 時系列の信号, テレビカメラによる画像信号などのデータを対象とした信号処理システムの概要について述べる。

(注) 会場の収容人数に制限がありますので, 参加者はつぎの点にご留意ください。

[登録員] 官製はがきにて参加申し込みして下さい。(申込者全員を収容します。)

[非登録員] 往復はがきに, 氏名, 勤務先と電話番号, 会員(会員番号記入)・非会員の別を明記して, 11月25日(火)までにお申し込みください。先着順に受け付け, 可否を通知いたします。当日は, 受付で, 参加費(含資料代, 会員: 1,400円, 非会員: 2,000円, 学生会員: 1,000円)をいただきます。

#### ○第4回 計算言語学研究会(主査: 和田 弘, 代表幹事: 西村恕彦)

**日 時** 12月5日(金) 午後2時～4時30分  
**会 場** 電子技術総合研究所 A会議室  
[東京都千代田区永田町2-6-1, 地下鉄: 有楽町線永田町駅下車, Tel. (03) 581-0441]  
**議 題** (1) 大量言語処理におけるエラーの対策

齋藤秀輝, 米田正人, 中野 洋, 鶴岡昭夫 (国研)

〔概要〕 国語研究所での大量言語処理において, 経験的に得られた言語学的作業や, パンチにおけるエラーとその対策について述べる.

(2) 言語理解システム開発のための道具だて——LISP を中心とするファクシミリティ群 淵 一博, 田中穂積 (電総研)

〔概要〕 自然言語処理の研究のために開発した, いくつかの道具だてと, 簡単な実験システムを紹介する.

### ○第3回 イメージ・プロセッシング研究会

(主査: 尾上守夫, 代表幹事: 長尾 真, 白井良明, 高木幹雄)

日 時 12月15日(月) 午後2時~5時

会 場 東大生研 第3部 輪講室

〔東京都港区六本木 7-22-1, 地下鉄: 千代田線乃木坂下車徒歩2~3分, 日比谷線六本木下車徒歩5~10分, Tel. (03) 402-6231〕

議 題 (1) 二値デジタル画像のデータ圧縮処理について

安田靖彦 (東大生研)

〔概要〕 ファクシミリデジタル領域圧縮および文字発生器における文字パターンの圧縮など二値画像のデータ圧縮処理に共通の手法を系統化して述べる.

(2) SSDA 法による画像の重ね合せ

尾上守夫, 前田紀彦, 齋藤 優 (東大生研)

〔概要〕 Sequential Similarity Detection Algorithm (SSDA) 法は似かよった画像の重ね合わせの有力な手段であるが, 実用上一番問題になるのはしきい値の決定法である. ここではその自動決定法を述べ, 気象衛星画像の雲追跡に応用した例を示す.

(3) 東大生研におけるイメージ・プロセッシングの研究

尾上守夫, 高木幹雄 (東大生研)

〔概要〕 東大生研では, 電子計算機による多次元画像情報処理の研究を行っている. 現在, 研究設備の建設と共に基本的ソフトウェアおよび各種の応用ソフトウェアの開発にあたっている. その概要について紹介する.

### ○第11回 計算機アーキテクチャ研究会

(主査: 相磯秀夫, 代表幹事: 所真理雄)

日 時 1月28日(水)

会 場 未定

◎午前・午後にわたり電子通信学会電子計算機研究会との共催で並列処理に関する計算機アーキテクチャ, ハードウェア, ソフトウェアを特集する予定です.

講演希望の方は11月末まで主査・代表幹事にご連絡下さい.

連絡先 慶応義塾大学工学部電気工学科 (044) 63-1141 内 3320 (相磯, 所)

〒223 横浜市港区日吉町 832

## 記号処理研究委員会開催のお知らせ

本委員会は、記号処理システム (LISP SNOBOL など、ハードウェアも含む) とその応用 (数式処理, 自然言語処理, 定理証明など) に関する研究委員会です。第 1 回の研究委員会は 11 月 19 日 (水) 3 時から東京大学理学部 1 号館 186 号室で開催し, “HLISP-REDNCE-II 数式処理システム” について報告があります。第 2 回は 12 月か 1 月に通研の AL システムに関する報告などを予定しております。本研究委員会に新たに参加御希望の方は主査まで御連絡下さい。

主査 後藤英一 〒113 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学理学部情報科学科  
Tel. (03) 812-2111 内 (2860)

## 急告!! 第 16 回大会参加の方へ (おわびとお願い)

前号の第 16 回大会プログラムのなかに「事務局からのお知らせ」がありますが, その中の会場での注意の 2 で自家用車を矢上校舎に駐車できる旨お知らせしましたが, 駐車場の収容能力がありませんので, 自家用車での来場はご遠慮くださるよう願います。この件について, 参加予定のお知り合いの方にも周知かた願います。また, 同記事中, 創立記念日とありますが, これは三田祭の誤りですので, あわせて訂正し, おわびいたします。

なお, 11 月 20 日~22 日の大会期間中は, 本学会事務局は休みといたしますので, ご了承ください。